御使用になる前に説明書を御一読ください。

1. 作動させるためにはファンタム電源が必要となります。最良の結果を得るために、48V のファンタム電源を使用してください。大半のプロ用ミキサーには 48V のファンタム電源が内蔵されており、また電源のみを単体で購入する事もできます。お客様の御使用になっているパワーサプライが正確に作動するプロ用のユニットであるかどうか必ずご確認ください。間違ったパワーサプライを接続して起こる損傷につきましては、保証が適用されませんのでご注意下さい。

2. オムニまたはカーディオイドにポーラーパターン・スイッチをセットして下さい。
次にレスポンス・スイッチ(ポーラーパターン・スイッチの裏側)をフラット・レスポンス"—"または、ローカット" ┏"にセットして下さい。
また、このスイッチを使って 10dB のパッドを信号系統に挿入し、とても高い SPL 操作をする事ができます。

3. NT-1 と NT-1000 にはマイク・スタンドに取り付けるためのネジがマイクの下部に付属しています。マイクスタンドに取り付ける際にはスタンドが良く固定されているかどうか確認して下さい。（スタジオ用マイクはデリケートですので落とさない様ご注意下さい。）
NT-2 はショック・マウント・サスペンションが付属しています。まず、固定されたマイク・スタンドにショック・マウントを接置して下さい。適切な角度にショック・マウントを動かした後、ネジを手で固く絞めて下さい。そしてセンターにある 2 つのレバーをつかんで内側に押しながらサスペンションを開き、NT-2 をマウントに固定します。

4. 最初にマイクのコンソールに接続する時にはゲインが下がっている事を確認して下さい。

5. ファンタム電源を ON にする前に、すべてのケーブルの接続とマイクのスイッチの調整を確認して下さい。電源が接続されている間は絶対にマイクのケーブルをはずさないで下さい。

6. 正確に電源に接続されている事を確認した後、ミキサーに接続して下さい。ミキサーにファンタム電源が内蔵されている場合は、外部のサプライがなくても直接ミキサーに接続することが出来ます。
常にバランス・タイプのマイク・ケーブル(3 pin XLR キャノン仕様)をご使用下さい。
注意: ケーブルは ２番ホットになっていることを確認して下さい。
NT2 は接触不良の原因となる錆を避けるためにゴールド・タイプのプラグを購入される事をお薦めします。**注意**: NT-2 の全ての接触ポイントはゴールド・タイプとなっています。

7. ファンタム電源とミキサーのスイッチを ON にしてください。その後マイクが安定するまで 6 秒程かかります。ミキサーのゲインを調節しながら、ピーク LED がプログラム・ソースのピークで点滅するようにします。ピークレベルは LED や VU メーターなどを見ながらご自身の耳で適切のレベルになるように調節します。

これでマイクの使用準備が完了しました。

8. 求めている音を得るマイクのテクニックは実験が必要です。まず最初にチャンネルの EQ を'OFF'かフラットにセットします。そして求めている音を得やすい場所にマイクの位置を変えながらオムニまたはカーディオイドの接続をアプリケーションに応じて選びます。(NT-2 のみ)そして必要に応じて反射板あるいは吸収板を適切な角度にあわせるようにします。マイク録りするスペースのアコースティック的特質を変える事がベストな音質を得るための基本的なアプローチです。この方法で得る事のできるベストな音質を確認した後、イコライザーやリバーブ等のエファクター等、どんなシグナル・プロセッサーでも音をエンハンスする事は可能ですが、過度な使用は禁物です。NT-2 は 12K をピークにレスポンスを得る事ができるようにデザインされております。この特徴は 50 年代のクラッシックな商品に多くみられ、ボーカルやその他のアプリケーションにとても良い結果を得ることができます。このプレゼンス効果で広域のイコライジングによる信号の劣化があっても、レコーディングやミキシングのプロセスの中で音のクリアー感を保ち続けることができます。

◇注意事項◇

1. コンデンサー・マイクは湿気を嫌います。湿気を避けて保管し、常に乾燥しているところに保管して下さい。カプセルはボーカル・ワークにおいて湿気を受けやすいので、ポップ・ガードをお使い下さい。これを使う事によってボーカルのよけいなブレスを取り除き、唾などがマイクに直接あたるのを防ぎます。スポンジ・タイプのウィンド・スクリーンは湿気を遮るのに効果的で、しかも高域を多少押さえる事にも役立ちます。

2. ぶつけたり落としたりしますと故障の原因となり、保証の対象とはなりませんのでご注意下さい。NT1/1000　カプセル内のダイアフラムがショックマウント構造になっており、耐久性及びレコーディング時の振動からの影響に非常に優れています。マイクにサスペンションを用いる場合オプションとして NT1 は SM1 を、NT1000SM-2 ご用意しておりますのでこちらをご使用下さい。

3. ご使用の度にサスペンションからはずしてください。使い終わった後は、乾いたやわらかい布でお拭きになり、ハードケースの中に収納してください。その際、マイクの先端に乾燥剤(白い袋)を入れておくことがベストです。この乾燥剤が湿気を吸収し、カプセルを守ります。この乾燥剤は末永く利用する事ができます。乾燥剤がピンク色になりましたら青色に変わるまで 60℃位の温度に設定されたオーブンの中に入れてください。この乾燥剤は一度冷えますと再び白色に変わります。

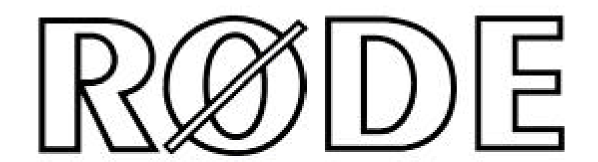
4. マイク本体(バレル)を磨く際は、丁寧にエンド・ピースを取りはずし、本体をそっと抜いてください。バレルを磨いている間はマイクの中身を箱の中に入れておいてください。キッチン用の洗剤を使うと簡単に汚れを取ることができます。その際、水で良く洗剤を流した後、完全に乾かしてからバレルを戻してください。そしてバレルが動かなくなるまで端の部分を閉めてください。(閉めすぎますと故障の原因となりますのでご注意下さい。)

5. ダイアフラムはとてもデリケートですから、カプセルの周りのメッシュ・ケージは絶対にはずさないでください。

◇保証規定◇

すべての RODE の製品はお買い上げから 1 年間の保証がついています。保証期間中はマイクの修理にかかわる部品や技術料をサービスさせて頂きます。但し、改造による故障や説明書をよくお読みにならずに起こった事故、運送中におこった過失による損傷については保証が適用されませんのでご注意下さい。もし何か問題が生じたり RODE のマイクについてご質問等ございましたらご遠慮なく RODE 代理店サウンドハウスまで FAX またはお電話下さい。

TEL 0476-22-9333
FAX 0476-22-9334



取扱説明書

NT1
NT2
NT1000



RODE 総輸入代理店
株式会社サウンドハウス
Professional Sound Equipment Specialist
〒286-0044 千葉県成田市不動ケ岡 1958